

## ～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 当院における角膜クロスリンク（CXL）治療成績の検討』  
研究機関名 東邦大学医療センター大森病院  
研究責任者 眼科 職位・氏名 助教・柿栖康二

### 【研究の目的】

東邦大学医療センター大森病院眼科では、円錐角膜の治療である角膜クロスリンク治療の有効性を検討することを目的として本研究を計画しました。この研究で得られる成果は、角膜クロスリンク治療の安全性と有効性の評価につながります。

### 【研究対象および方法】

この研究は、（東邦大学医療センター大森病院）倫理委員会の承認を得て実施するものです。

対象者：2018年10月～2021年12月までに東邦大学医療センター大森病院眼科において、進行性のある円錐角膜の患者35例

方 法：診療録（カルテ）から抽出したデータを解析します。

### 【研究に用いられる試料・情報】

性別、年齢、既往歴

角膜クロスリンク治療前後の視力、屈折値、角膜形状解析データ

治療後に使用した点眼、副作用の発生の有無

### 【外部への試料・情報の提供】

外部機関へ情報の提供は行いません。

### 【研究組織】

研究機関： 東邦大学医療センター大森病院

部署： 眼科

研究代表医師 柿栖康二 役職：助教

研究実施者 堀 裕一 役職：教授

研究実施者 岡島行伸 役職：助教

### 【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者様のお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

### 【利益相反について】

本研究においては、研究実施者の一人である堀 裕一が得ている東邦大学医学部眼科学講座（大森）の講座研究費を使用します。研究実施者の中で堀 裕一は眼科治療薬やコンタクトレンズの製造販売企業から、講演料ならびに研究寄付金を受けており、利益相反がありません。

す。本研究は後ろ向きの研究であり、特定の治療薬や治療法を比較した研究ではありません。またデータの解析は利益相反のない研究者が行い、相互にデータをチェックできる体制で行います。このため利益相反状態であっても研究成果の客観性は保たれると考えられます。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

**【連絡先および担当者】**

東邦大学医療センター大森病院眼科

職位・氏名 助教・柿栖康二

電話 03-3762-4151 内線 77265